

## 2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	建築ストックマネジメント小委員会		主 査 名：有川 智 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会		委員長名：齊藤広子
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	建築はフローからストックの時代に入り、官民とも膨大なストックを如何に合理的に管理するかが大きな課題となっている。ストック管理に関する各種技術を整理、再考し、将来の施設戦略やマネジメント技術を提言することを目的とする。 初年度：大会 PD「建築ストックとデータサイエンス」開催済 2 年度：各種マネジメントにおけるストック活用事例と ICT 活用の実態把握 3 年度：公共・民間の施設戦略とマネジメント技術の再整理・体系化 4 年度：公共・民間の施設戦略とマネジメント技術の俯瞰・再考・提言		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 主査:有川智(東北工業大学), 幹事:堤洋樹(前橋工科大学), 幹事:李祥準(関東学院大学), 円満隆平(金沢工業大学), 小松幸夫, 山本康友(東京都立大学), 讃岐亮(東京都立大学), 松岡利昌(松岡総合研究所), 板谷敏正(プロパティデータバンク), 高橋暁(国土技術政策総合研究所), 池澤龍三(建築保全センター), 松村俊英(ジャパンシステム), 山下光博(建築保全センター), 恒川和久(名古屋大学), 五十嵐健(次世代建設産業モデル研究所)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2022 年度予算	65,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)、別途メール審議
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	公共・民間の施設戦略とマネジメント技術の再整理・体系化について、各委員による活動は進んでいるが、委員会として成果の共有・蓄積及び取りまとめが十分できず、大会 PD を先送りせざるを得なかった等、目標達成には至っていない。
委員会活動の問題点・課題	委員会活動のより一層の活性化を課題としていたが、コロナ禍により対面での会議、視察が叶わず、活動が委員個人に委ねられてしまった。行政等を対象とした成果公表に向け、成果を後継の小委員会に円滑に引き継ぐことが課題である。